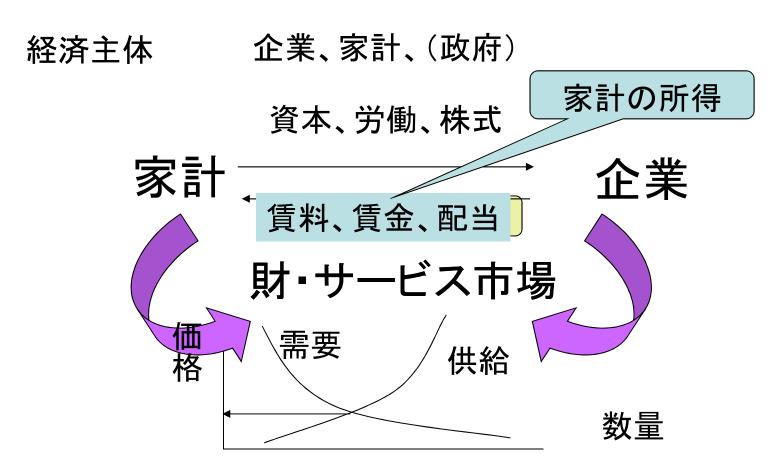
#### 企業の理論

- ・企業の行動の特徴
- ・ 費用最小化と利潤最大化
- 費用関数と利潤関数
- 市場供給関数
- 長期均衡

#### 企業の行動の特徴



企業=利潤最大化行動but 価格受容者とは限らない

### 利潤

利潤=収入一費用

収入=販売価格×数量

費用=>要素価格×数量

#### 企業の直面する制約

- •技術制約
- •市場の制約

企業が直面する価格の決まり方

#### 産出物の市場

多数の参加者→価格受容者

一人の供給者→独占(供給)

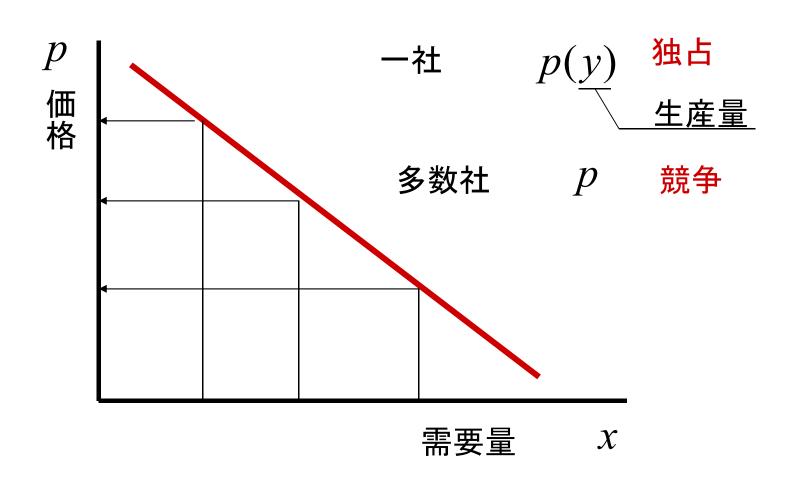
#### 生産要素市場

多数の需要者→価格受容者

一人の需要者→買い手独占

完全競争市場

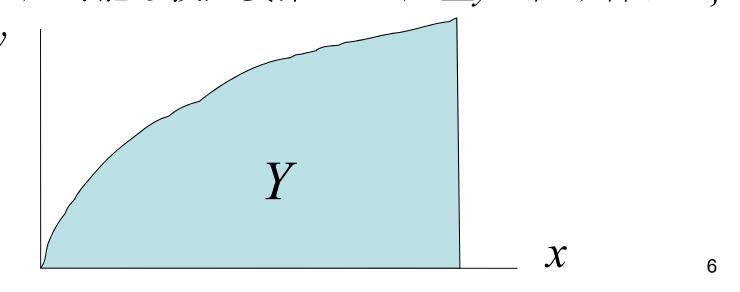
## マーケットシェアと独占力



### 技術の描写(1)

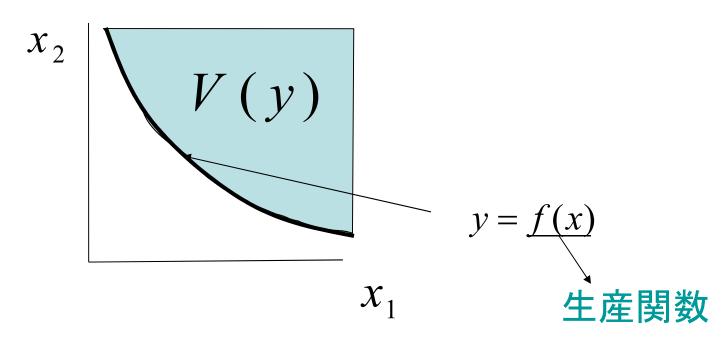
技術とは、生産要素を生産物に変換する体系生産可能集合

 $Y = \{(x, y), x \in R_+^n, y \in R_+ \mid (x, y) \mid x \in \mathbb{R} \in \mathbb{R}$  生産可能な投入要素xと生産量yの組み合わせ $y \in \mathbb{R} \in \mathbb{R}$ 



## 技術の描写(2)

必要投入量集合  $V(y) = \{x \in R_+^n \mid (x, y) \in Y\}$ 



#### 例

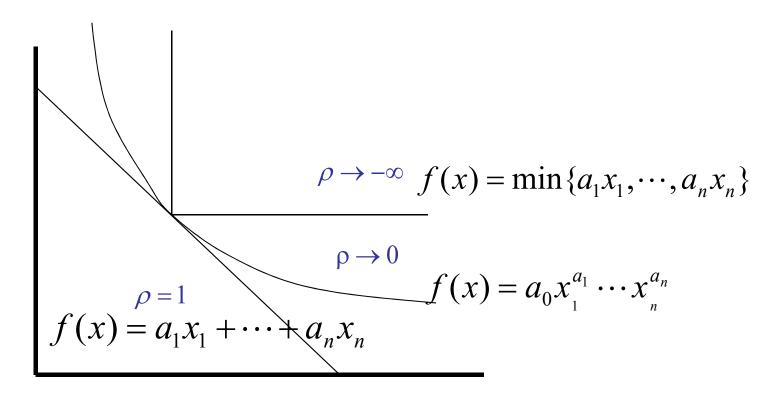
レオンチェフ型 
$$f(x) = \min\{a_1x_1, \dots, a_nx_n\}$$

コブ=ダグラス型 
$$f(x) = a_0 x_1^{a_1} \cdots x_n^{a_n}$$

線形 
$$f(x) = a_1 x_1 + \dots + a_n x_n$$

### 例 CES型生產関数

$$f(x) = (a_0 + a_1 x_1^{\rho} + \dots + a_n x_n^{\rho})^{1/\rho}$$



## 生産関数の性質(仮定)

- 1. f(0) = 0
- 2.  $f(\mathbf{x})$ は x について単調非減少
- 3.  $f(\mathbf{x})$ は準凹関数

$$\Leftrightarrow V(y) = \{x \in R_+^n \mid y \le f(x)\}$$
が凸集合

### 規模に関する収穫

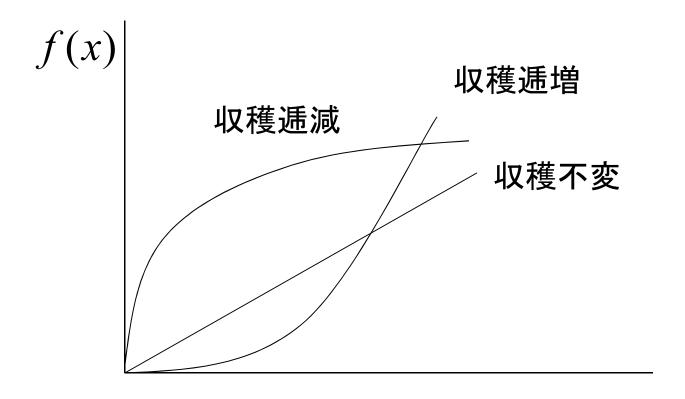
$$\forall x, x' \in R_+^n$$
、 $0 \le t \le 1$ に対して、

$$f(tx+(1-t)x')\begin{cases} \leq \\ = tf(x)+(1-t)f(x') \\ \geq \end{cases}$$

規模に関して、

収穫逓増、 収穫不変(一定)、 収穫逓減

# 例:



#### 企業の行動

競争的企業

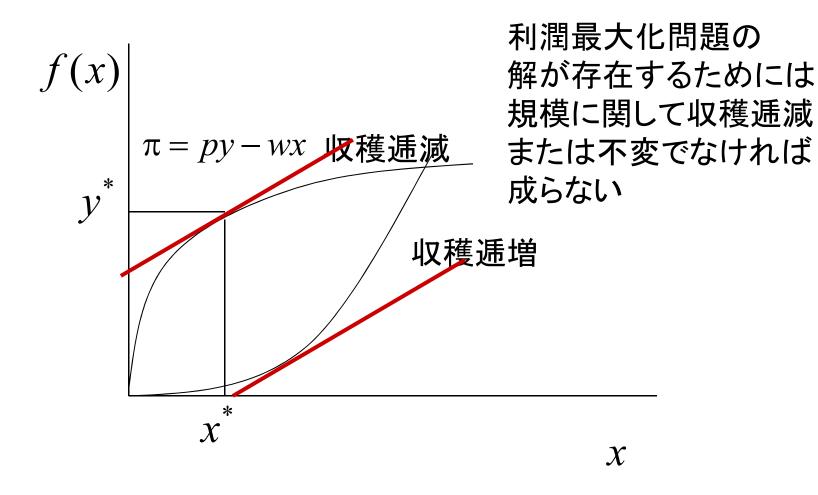
$$\pi(p, w) = \max pf(x) - \sum_{i=1}^{n} w_i x_i$$

一階の最適化条件

$$p\frac{\partial f(x)}{\partial x_i} = w_i$$

限界生産物の価値=要素価格

#### 規模に関する収穫と利潤最大化



## 費用最小化行動

$$c(w, y) = \min \sum_{i=1}^{n} w_i x_i$$
  
subject to  $y = f(x)$ 

一階の最適化条件 
$$w_i = \lambda \frac{\partial f(x)}{\partial x_i}$$
 
$$y = f(x)$$
 技術的限界代替率=要素価格比  $w_i / w_j = \frac{\partial f(x)}{\partial x_i} / \frac{\partial f(x)}{\partial x_j}$ 

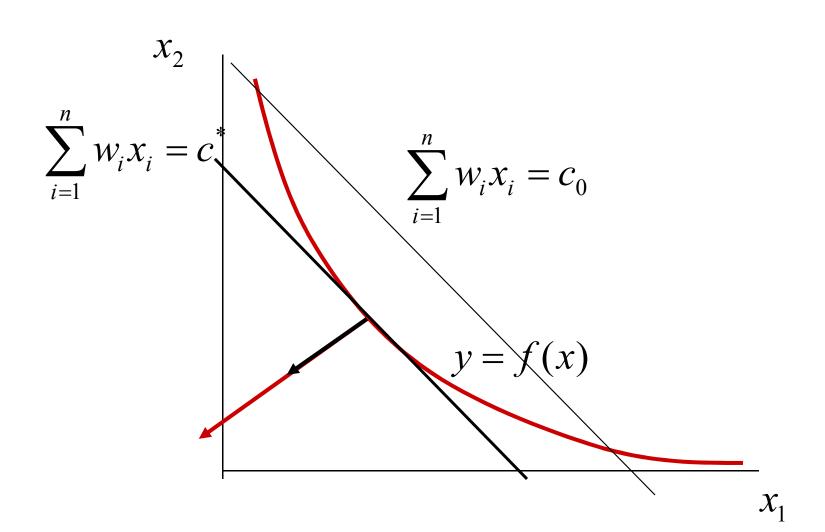
#### 条件付要素需要関数

#### 費用最小化問題の解

$$x_i = x_i(w, y)$$

$$x_i(w, y) = \frac{\partial c(w, y)}{\partial w_i}$$

# 図解



#### 利潤最大化行動

$$\pi(p, w) = \max py - c(w, y)$$

一階の最適化条件

$$p = \frac{\partial c(w, y)}{\partial y}$$

産出物の価格=限界費用

### 要素需要関数、供給関数

要素需要関数  $x_i = x_i(p, w)$ 

供給関数

$$y = y(p, w)$$

ホテリングのレンマ

$$y(p, w) = \frac{\partial \pi(p, w)}{\partial p}$$
$$x_i(p, w) = -\frac{\partial \pi(p, w)}{\partial w_i}$$

### 短期・長期の費用関数

固定的な生産要素が存在する 🚃 短期

$$c(y) = c_{v}(y) + F$$

費用=可変費用+固定費用

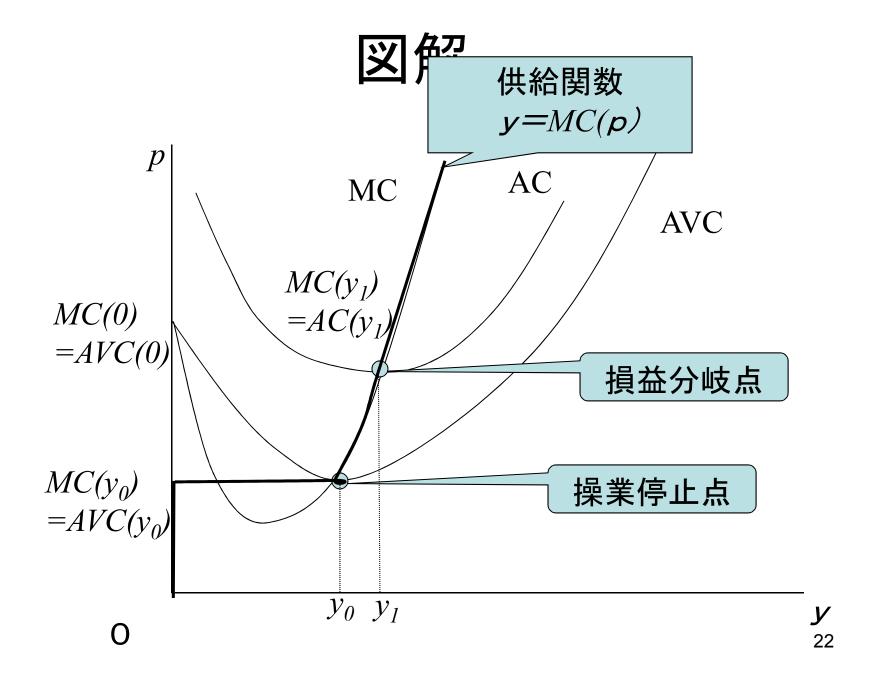
## (短期)平均費用、限界費用

短期平均費用(AC)

$$c(y)/y = c_v(y)/y + F/y$$
  
平均可変費用(AVC)

限界費用(MC)

$$\partial c(y) / \partial y = \partial c_{y}(y) / \partial y$$



#### 損益分岐点、操業停止点、供給関数

#### 損益分岐点

利潤=0となるような価格と生産量の組み合わせ py-c(y)=0 よって p=c(y)/y=AC(y).

#### 操業停止点

価格がその値を下回ると操業を継続することが困難となる価格 (操業停止価格)とその価格の下での生産量の組み合わせ  $c(y)=c_v(y)+F$ , py-c(y)=-Fよって $p=c_v(y)/y=AVC(y)$ .

#### 供給関数

Max 
$$py-c(y)$$
 の解. 一階条件は $p=MC(y)$ だから  $\int p=MC(y)$ の解,  $p>=\min AVC(y)$   $y=0$ ,  $p<\min AVC(y)$ .

### 練習問題

• コブダグラス型技術に関して以下を導出せよ

$$c(\mathbf{\omega}, y) = \min_{x_1, x_2} \omega_1 x_1 + \omega_2 x_2$$

s.t. 
$$x_1^{\alpha} x_2^{1-\alpha} = y$$

- (a) 長期の費用関数を求めよ
- (b) x2=kであるとき(短期の問題)
  - (a) 費用関数を求めよ
  - (b) 利潤最大化問題を定式化し, 利潤関数を求めよ